

明和中学校区 地区懇談会ニュース

第9号
2025年9月発行
明和中学校区
地区懇談会事務局

地区懇談会とは…

中学校区を単位に設置され、0～18歳までの子どもと家庭に関わる課題の解決に向けて、家庭・地域・学校が連携して取り組みます。

2025年度 明和中学校区

代 表：佐久間利彦

(青少年育成大和地区委員会委員長)

副代表：横山恵美子

(青少年育成鷺宮地区委員会委員長)



《構成団体》

地域：青少年育成大和地区委員会、青少年育成鷺宮地区委員会
大和地区民生児童委員協議会、鷺宮地区民生児童委員協議会
大和地区町会連合会、鷺宮地区町会連合会

学校：明和中学校、美鳩小学校、啓明小学校、鷺の杜小学校、
鷺宮高等学校

PTA：明和中学校 PTA、美鳩小学校 PTA、啓明小学校 PTA、
さぎのもりサポートの会

保育園、幼稚園、保育・養育団体等：

大和東もみじの森保育園、田中ナースリー大和保育園、
聖ピオ保育園、七海保育園、白鷺保育園、やはた幼稚園・松風会
大和幼稚園、若宮幼稚園

明日葉学童クラブ鷺宮、キッズ・プラザ美鳩、キッズ・プラザ鷺の杜
愛児の家、さぎのみやあいあいサポート

【代表あいさつ】 佐久間 利彦

四中と八中の時から明和中校区は何年か合同地区懇談会を積み重ねてきました。

そして今年は、当初の計画の地に明和中の新校舎がオープンしました。

鷺宮地区と大和地区は、長い間いろいろな課題に取り組んできましたが、これからも明和中学校を中心に共に考えていきたいと思っています。



【あいさつ】 明和中学校 校長 鈴木 将大

今年度4月から明和中学校に着任しました。同時に新校舎となり、新しい舞台で教育活動を進めていく年となります。

学校を取り巻く環境が変化していくように、学校現場は常に新しい課題が生じます。地域と共にその課題に向き合い、子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。

本日の地区懇談会、よろしくお願いいたします。



7月17日(木)

今年度第1回地区懇談会を、明和中学校新校舎で実施しました。(参加者40名)



ここ数年、外国籍の方と身近に接する場面が多くなってきています。明和中校区内でも外国ルーツの子どもたちも増えていて、その子どもたちと家族、またコミュニティとどのように交流するか、まずはお互いを知ることから始めたいという思いで、今回のテーマを設定しました。

今回は、パネリストとして中野区社会福祉協議会の小山奈美課長、コミュニティソーシャルワーカーの増永めぐみ氏、浅見真帆子氏をお迎えし、現場のお話を伺った後、グループに分かれ、それぞれが日々感じていることを話し合いました。

今年度の年間テーマ

明和中校区はグローバル！

= 第1回 =

～聞いてみよう・知ってみよう〇〇なお隣さん～



参加者の感想から



懇談会に参加して新たに知った(気づいた)ことはありますか

- ・あいさつを通して異文化の方たちとつながる話を聞いて、そのようなことができる地域は素晴らしいと感じた。
- ・習慣の違いなどを知って、お互いにリスペクトできる関係が築けたらと思った。
- ・文化に対する価値観が広く理解されにくい現状の中で、地域や学校等の方々が子どもたちに対してなにかやろうとしていることが素晴らしいと思った。
- ・国籍に関わらず、互いが歩み寄って住みやすく、子どもがのびのびと成長できる地域になったら良いなと感じた。
- ・地域や学校・児童館での外国籍の方とのやりとりや対応の工夫・課題などの現状などを知ることができてよかった。
- ・皆がコミュニケーションのきっかけをさがしていて同じだとわかった。
- ・中野区内の外国籍の子どもたちが急増していることを知って、ますます多文化教育を実践していかなければと思った。
- ・各地域で外国籍の方が増えているに伴うそれぞれの立場での課題は、多様にあると感じた。
- ・中野社協の方のお話を聞いて、実際に取り組まれているイベントやコミュニティソーシャルワーカー事業の目的を知ることができた。

今年度のテーマは「明和中校区はグローバル」ですが、第2回全体会では何を話し合いたいですか

- ・地域のコミュニティについて、可能ならば地域にお住いの外国の方を招いて、生の声をお聞きたい。
- ・グローバル教育について考えたい。
- ・具体策！何ができるか話し合いたい。 ・外国の方と共に考える防災対策について
- ・教育現場での日本語教育の持ち方や地域での継続的な取り組みについて考えたい。
- ・多国籍の方が増えることで、良くなった事例を紹介してもらえると、取り組みを考えていけるのではないかな。
- ・コーディネーター(世話人)の立場にある方を招いて、お互いの理解を深めるグループワークをしてみたい。



今回の全体会では、それぞれの立場で日頃から感じていることをグループ懇談の場で出し合い、共有しました。何かやらなければという思いはあるが、どうしたらよいかわからない…などの意見も出て、熱く話し合うことができました。

次回の全体会では、「聞いてみた・知ってみた 次はどうする？やってみよう！」(仮)をテーマに ANIC(中野区国際交流協会)の方をお招きして、具体的な行動について考えてみたいと思っています。

【まとめ】 副代表 横山 恵美子

私は主任児童委員をしていますが、3年ほど前に 他の民生児童委員の方と一緒に外国籍のお子さんの登校支援を、半年間続けたことがあります。

スクールソーシャルワーカーの方にも間に入ってもらい、お互いの文化の違いや習慣から生じる課題に向き合い考えて対応しました。

その時の経験から、まずはお互いを知ること、そして伝えていくということがコミュニケーションのうえでとても大切だと思っています。

その視点を大切にこれからも活動を続けていきます。



〈明和中学校校区地区懇談会事務局〉次世代育成委員:黒木 伸子・大崎 尚子・長岡 知恵・大柴 文子
若宮児童館 Tel 03(3330)7899 大和児童館／鷺宮児童館／大和西児童館／西中野児童館